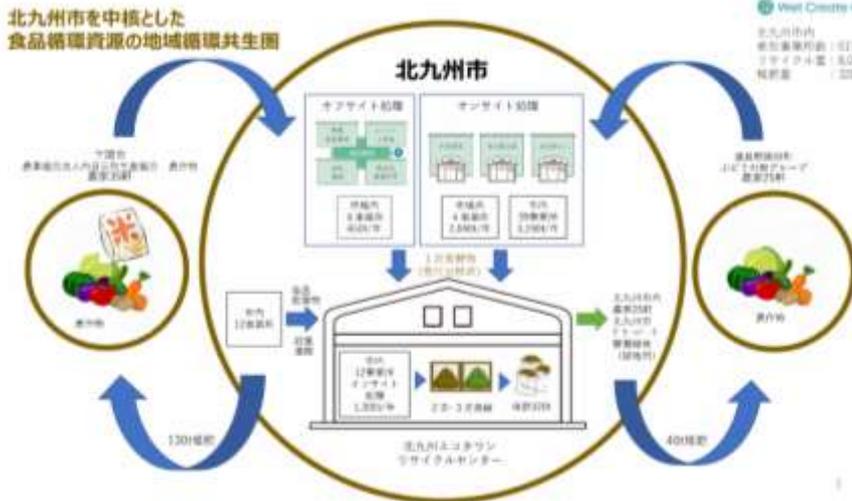


企業名	株式会社 ウェルクリエイト（旧：楽しい株式会社）		
企業代表者名	中原 信子		
保有する環境技術	堆肥化製造装置		
所在地	福岡県北九州市若松区向洋町 10 番 1		
HP アドレス	https://www.well-c.co.jp/		
<b>①アジア低炭素化センターとの連携実績</b>			
期間	対象都市（国名/都市名）	概要	
2014年11月～ 2016年11月	マレーシア/フレーザーヒル	マレーシア国フレーザーヒル廃棄物管理事業（JICA 草の根技術協力事業）	事業を終了した
2016年7月～ 2017年3月	マレーシア/キャメロンハイランド	マレーシア国における事業系食品廃棄物リサイクル事業の可能性調査（北九州市アジア環境ビジネス展開支援事業）	事業を終了した
2017年11月～ 2019年2月	マレーシア/キャメロンハイランド	食品系廃棄物の堆肥化およびリサイクルループの構築に係る案件化調査（JICA 中小企業支援型）	事業を終了した
2018年6月～ 2020年3月	中国/邢台市	北九州市環境ビジネス推進会と中国河北省邢台市環保局との覚書に基づく邢台市牛尾河浚渫汚泥処理実証試験（北九州市アジア環境ビジネス展開支援事業）	事業を終了した
2019年8月～ 2023年6月	マレーシア/キャメロンハイランド	食品系廃棄物の堆肥化及びリサイクルループの構築に係る普及・実証・ビジネス化事業（JICA 中小企業支援型）	FS 調査継続中
2019年11月～	中国/天津市	静海区食品残渣処理プロジェクトにおけるモデル設備の導入	事業実施中
2020年7月～ 2021年3月 (再申請予定)	マレーシア/キャメロンハイランド	マレーシア国における安全な野菜の安定確保と栄養状態の改善に資するサプライチェーン構築のための調査事業（北九州市アジア環境ビジネス展開支援事業）	FS 調査継続中
<b>②当該企業の国内/国外実績</b>			
<p>食品系廃棄物のリサイクル事業を展開しており、食の資源循環を通じた食品廃棄物やCO2の削減への貢献を目指している。（2020年4月に楽しい(株)、(株)ケミカルクリエイト、(株)メリーズ・ジャパンが合併し発足）</p> <p><b>【国内実績】</b></p> <p>食品系廃棄物の発酵分解を行うコンポスト装置を開発・製造し、現在700以上の自治体や学校、企業で導入されている。食品リサイクルループ形成による「地域循環共生圏の構築と普及・啓発活動」が評価され令和2年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰において経済産業大臣賞（事業所・地方公共団体等分野）受賞。そのほか農林水産省などの受託事業をこれまで多数実施している。</p> <p><b>【国外実績】</b></p> <p>中国・青島にて会社を設立し、事業を展開している。そのほかマレーシア、中国の他都市でも各種事業展開を図っている（①参照）。</p>			
<b>③海外展開方針</b>			
方針	すでに中国にて会社を設立し、事業を展開している。		
実施体制の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 現地で事業実施 <input type="checkbox"/> 販売のみ	<input type="checkbox"/> 現地企業と合併 <input type="checkbox"/> 日系企業と合併	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
展開先希望 (国、都市、地域など)	中国天津市、マレーシア国	コンサルの活用希望	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
展開分野（検討・予定含む）	食品残渣の堆肥化、循環型農業の構築、コンポストに適さない有機系廃棄物の炭化		

④海外のニーズに対応可能と考えられる技術・ノウハウ

※ 対応可能規模、独自性・競争優位性、将来展望等

○食品系廃棄物を使用した堆肥作成および食品資源循環システム構築の技術



同社は食品残渣発酵分解装置「フォースターズ」を開発・製造し、迅速にかつ臭いを発生させずに食品残渣を分解する技術を確立している。「フォースターズ」は食品残渣の投入後、約 24 時間で分解することが可能である。食品残渣は分解完了後、一時発酵物として専用のリサイクルセンターに回収され、二次発酵・三次発酵を経て堆肥化される。堆肥は契約農家等で野菜栽培に利用され、農

作物となって市場に提供されるという資源循環のシステムが形成されている。この装置を通じて食品系廃棄物のリサイクルと良質な堆肥の製造が可能であり、食品循環資源の地域循環共生圏の実現と CO2 削減効果が期待できる。



すでに中国・青島や天津市、マレーシアへの展開を進めており、天津市静海区では北九州市と天津市静海区人民政府との協力事業のもと、同社の装置が静海区に設置された。マレーシアではキャメロンハイランドにおいて、食品系廃棄物からの堆肥製造や堆肥を利用した減農薬野菜の生産といった食品資源のリサイクルループを構築する実証事業を実施している。

<p>(1) 他社とのコラボ等に関する要望</p>	<p>マレーシア国においては IGES が環境省補助事業として実施する「マレーシア等における食品残渣発酵分解装置普及プロジェクト(仮称)」との連携を図り、IGES、NTT データ経営研究所(JCM 事業課推進)、現地コンサル会社とコラボして進めたい。</p>
<p>(2) 当該企業の将来性や今後の展開に対する期待 (IGES コメント)</p>	<p>当社のメリーズシステム事業は食品残渣発酵分解装置「フォースターズ」を核に、堆肥を用いた循環型農業の構築において豊富な国内実績を有している。また、海外展開に当たっては、中国・天津市への設備導入の実績やマレーシアでの JICA 事業を通じた事業展開を実施中である。当社はオンサイト処理方式、オフサイト処理方式、サブスクリプションサービスなど多様な事業モデルを提案でき、これらの海外市場で食品残渣の運搬・処理に関するトータルな処理費用の競争的価格提示ができるかが事業展開の鍵となる。アジア諸国・都市での安価な廃棄物処理単価が障壁となっていることから、現行のオープンダンプ方式から衛生型埋立処分や中間処理が進む地域を対象とすることも考えられる。また、堆肥化に適さない有機物を炭化し、土壌改良に活用する技術との組み合わせによる事業展開も検討しており、より付加価値の高い循環型農業の事業モデルを提案することで、海外展開が進むことも期待される。</p>